

領収書

毎度ありがとうございます

様

[店頭販売]
 フレーム 唐沢山城跡 フレーム切手
 1,300円 18個 ¥23,400

小計 ¥23,400

課税計 ¥23,400
 (内消費税等 ¥1,733)
 非課税計 ¥0

合計 ¥23,400
 お預り金額 ¥25,000
 おつり ¥1,600

印紙税申告納
 付につき廻町
 税務署承認済



〒100-8798 日本郵便株式会社
 東京都千代田区霞が関1-3-2
 取扱日時：2018年 4月17日 13:29
 担当：松本 美枝子
 発行No. 180417N1345 端N96箱01
 連絡先：赤見郵便局
 TEL:0283-25-0200

領収書

毎度ありがとうございます

様

[別納引受]
 区内特別基 (定) 12.5g
 @72 476通 ¥34,272

小計 ¥34,272

[販売]
 82円普通切手
 82円 2枚 ¥164

小計 ¥164

郵便物引受合計通数 476通
 課税計 ¥34,272
 (内消費税等 ¥2,538)
 非課税計 ¥164

合計 ¥34,436
 お預り金額 ¥35,000
 おつり ¥564

印紙税申告納
 付につき廻町
 税務署承認済



〒100-8798 日本郵便株式会社
 東京都千代田区霞が関1-3-2
 取扱日時：2018年 4月18日 12:24
 担当：松本 美枝子
 発行No. 180418Z1090 端N96箱01
 連絡先：赤見郵便局
 TEL:0283-25-0200

領 収 証

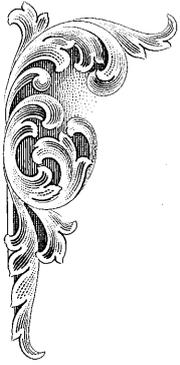
田 所 よ し お 様

30年 5月 16日

金 額		百万		千				円
			4	6	3	0	0	0

但し 義会報告印刷代

上記の金額正に領収いたしました



平 和 印

栃木県佐野市石塚町2189-4
TEL0283-25-2288



取扱者印

※金額や発行元などが、枠内に収まるよう、また重ならないように添付してください。

領 収 書

平成30年 9月 7日

田所 良夫 議員

金額
(消費税込)

1,592円

第3回佐野市議会議会報告会費用分担金として、上記の金額を領収しました。
(平成30年7月5日、9日、11日報告会開催)

佐野市議会報告会運営会委員長

菅原



※金額や発行元などが、枠内に収まるよう、また重ならないように添付してください。



田所よしお 市議会報告

平成30年4月 発行 第10号

発行者

田所良夫

事務局

佐野市赤見町3256
電話 0283-25-0233

平成30年度一般会計予算は459億7千万円、特別会計で、290億9,200万円、公営企業会計では、水道事業会計が収入28億4,263万2千円、支出36億2,775千円となりました。

もののふ

武士たちの夢の跡

戦国唐沢山城

NHK 大河ドラマ
放映にむけて



2017.11.26

田所よしおの一般質問 (2月28日)

全国山城サミットの^{じぎ}時宜を得て、佐野ロータリークラブでは「戦国唐沢山城」の改訂版が発行されました。

その冊子によりますと、およそ450年前の戦国時代、上杉謙信は関東の覇権を獲得するため、要諦の地に築かれた唐沢山城を持つ、佐野氏も配下にする必要があり、この後5回にわたる唐沢山城攻めが、行われたと記されております。

一方、上杉謙信の宿敵であった武田信玄は、この時期上杉謙信が小山秀綱を降参させ、佐野へ向かおうとしていることなどを、佐野正綱に知らせた書状も残されており、佐野正綱と武田信玄の関係も明らかであります。

この頃、佐野家と織田信長と関係を深めつつあったとみられる、貴重な記録があり、右近衛大将である織田信長より、^{たじま}^{かみ}但馬の守に任ぜられたと記されております。

天下統一へ向けて、織田信長が関東へ進出するにあたり、佐野氏は各武将との取次や交渉役を担っていたことは事実で、奥州の^{だて}伊達輝宗、^{てるむね}^{まさむね}政宗父の重臣に書状を送り、伊達輝宗から織田信忠へ馬や鷹を送るよう伝えている。信長の天下統一を目前にしながら、本能寺の変によって情勢は一変してしまうと記されております。

佐野家は、織田信長なき後は、豊臣秀吉との関係をさらに築き、小田原北条攻めに際して尽力され、小田原開城に先立って、唐沢山城は天徳寺^{ほうえん}宝衍（佐野房綱）へと直々奪還に



成功し、すぐに軍勢を整え^{おしじょう}忍城攻めにも参陣した。

北条方の領主がことごとく排斥された中、佐野家を取り潰しを免れたのは、天徳寺（佐野房綱）の大きな働きが、秀吉に認められた

ものと考えられます。

本能寺の変後、関東での勢力関係は新たな段階を迎え、関東の勢力を二分して争った沼尻合戦ぬまじりがあります。当時西日本では、豊臣秀吉と徳川家康による小牧こまき、長久手ながくての戦いが行われておりました。沼尻合戦は、その背後に秀吉（北関東連合軍）と家康（小田原北条軍）の存在があり、それぞれの思惑が絡む重要な戦いでもありました。まさに代理戦争の様相でもありました。兵力合わせおよそ数万人と記されておられます。因みに秀吉（北関東連合軍）は唐沢山城をバックに、家康「小田原北条軍」は沼尻周辺に陣を構えました。

*唐沢山神社に、通称「龍綺兜（りゆきのかぶと）」が伝わっており、元々織田信長から秀吉が拝領したものであったが、のちに天徳寺（佐野房綱）が賜ったものとある。

やがて、秀吉死後、佐野信吉はお家存続のため、徳川家康へ懸命に尽くし、家康の要求に従い続けたが、結果的には佐野家は改易となってしまう。原因については、いくつかの事が記されております



が、佐野城の取り壊しが慶長19年、1614年3月に行われている。その後、信吉の遺児久綱は、寛永13年、1636年御所院の藩士として取り立てられ、のちに3,000俵を賜るまでとなり、お家再興を果たした。これら等々と記されておりますが、観光立市・産業文化立市の立場からも、天徳寺宝衍（佐野房綱）主役、戦国唐沢山城をNHK大河ドラマ放映へ向けて、働きかけをしてはいか

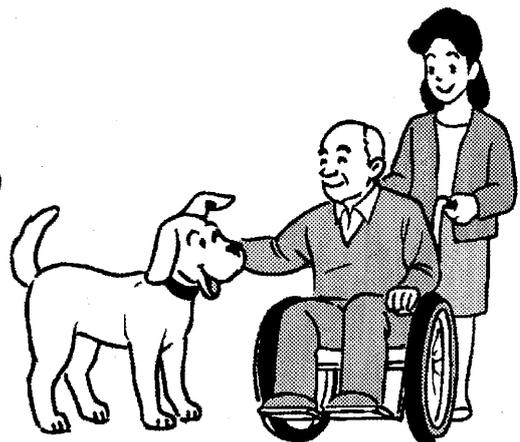
がですか、当局の見解を伺います。

【観光スポーツ部長答弁】

戦国時代の唐沢山城にかかわる佐野氏の家系には、当時の有力な武将とのかかわりのある城主など、歴史的にも興味深い史実が多く残っております。唐沢山城にかかわった、歴史上の人物が登場する物語には、ドラマチックなものも、少なくないようでございます。たとえば、天徳寺宝衍は豊臣秀吉の側近でもあり、小田原城攻めの際に、活躍した史実や人生そのものは、大変興味深くドラマにみちたものであることから、世間にもっと知られるべきものとは考えております。観光素材の磨き上げと言った観点から、今後は天徳寺宝衍の認知度を高めるとともに、大河ドラマ等の誘致も含め、周知活動を検討してまいりたいと考えております。

*** 国民健康保険が改革されます。国民健康保険制度改革に伴い、国保税の見直しが行われます。**

- 1、平成30年度の算定から、資産割がなくなります。
- 2、負担能力に応じた負担（応能分）と、受益に応じた負担（応益分）の割合が、50対50を基本とすることになります。
- 3、納付金制度の導入、国による公費の拡充により、ほとんどの世帯で減税となります。





田所よしお 市議会報告

平成30年10月 発行 第11号

発行者

田所良夫

事務局

佐野市赤見町3256

電話 0283-25-0233

平成30年第3回市議会定例会が開催され、平成29年度決算審査、平成30年度補正予算審査が行われました。

そのいくつかを報告させていただきます。

田所よしおの一般質問

本市の老人クラブ等のクラブ数と会員数の近年の傾向と現状について。

【健康医療部長答弁】

過去5年間で見ますと下記の通りです。

平成	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	25年度対比
クラブ数	136	135	131	126	116	△20
会員数	5,982	5,855	5,515	5,245	4,619	△1,363

高齢者人口は増加しておりますが、クラブの解散等により、クラブ数、会員数とも減少傾向となっております。

田所よしおの一般質問

老人クラブの近年の傾向と現状を醸成している原因は何か。

【健康医療部長答弁】

老人クラブにつきましては、全国的にクラブ数会員数とも減少傾向にありますが、その原因につきましては、新規会員の減

少により、クラブの会員が高齢化し、クラブ継続が困難になっていると言われております。

また新規会員の入会が進まない理由としては、活動内容が新しい高齢者ニーズにあっていないことや老人クラブの名称が共感されていないこと、加入条件の60歳は、現在では多くの人が働いていることなどが考えられております。

また、本市におきましては「佐野シニア連合会加入促進奨励金事業」を行っております。

田所よしおの一般質問

山城サミットを一過性のものとせず、今後の年間を通じた誘客となる方策についてどのように考えているか。

また、記念切手の発行数量と販売状況はどのようなものでしたか。

【観光スポーツ部長答弁】

現在、作成を進めております新たな観光パンフレットでは、唐沢山城をメインの一つとして紹介してまいります。

記念切手の発行枚数については、10,400枚すべて売り切っております。

工事請負契約の概要

工事名	佐野市運動公園陸上競技場改修工事
工事場所	佐野市赤見町
入札方法	事後審査型条件付一般競争入札
契約の相手	日本体育・山菊・共立特定建設工事共同企業体
落札金額	235,224,000円（消費税含む）

*あそ野学園義務教育学校は平成32年（2020年）4月開校に向け工事が進んでおります。（主なものを報告致します）

工事請負契約の概要

工事名	あそ野学園義務教育学校校舎建築工事
工事場所	佐野市戸室町
入札方法	事後審査型条件付き一般競争入札
契約の相手方	篠崎・酒庭・中里特定建設工事共同企業体
落札金額	1,263,600,000円(消費税含む)

工事請負契約の概要

工事名	あそ野学園義務教育学校既存校舎改修建築工事
工事場所	佐野市戸室町
入札方法	事後審査型条件付き一般競争入札
契約の相手方	落合・奥・秀和特定建設工事共同企業体
落札金額	621,540,000円(消費税含む)

*規模(開校時予測)

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	特支援	合計
人数	92	96	91	103	99	78	91	103	88	9	850
学級数	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	29

*教職員数(正規)(開校時想定)

役職	校長	教頭	教員	養護教諭	事務職員	合計
人数	1	2	38	2	2	45



完成予想図(全景) あそ野学園義務教育学校

【佐野市水道事業概要】

給水開始：昭和14年

水 源：地下水

行政区域面積：35,604ha

給水区域面積：18,434ha

行政区域内人口：119,348人

給水人口：117,639人

給水普及率(人口)：98.57%

年間配水量：16,708千 m^3

平成29年度水道会計決算は、1 m^3 供給単価と給水原価の差は△10円73銭であり年間金額では、およそ1億5千9百万円の赤字供給となりましたが、全体ではおよそ2億6千万円の純利益となりました。

* 下水道事業概要

佐野市の公共下水道は、昭和46年に単独公共下水道として着手以来積極的に処理区域拡大を進めてきた。平成5年には、栃木県が事業主体となる渡良瀬川上流流域下水道へ移行した。佐野市、田沼町、葛生町は、渡良瀬川上流流域下水道関連公共下水道として新たな事業をスタートし、平成17年2月の合併により、各市町で実施していた公共下水道は新市に引き継がれ、下水道事業計画区域3,133.1ha目標の83.1%、72,119人水洗化済です。(人口総数119,348人)

